

稲刈り上手にできた
本城小児童が収穫体験



手植えしたもち米を収穫する本城小児童

串間市・本城小(矢野浩子校長、58人)の5年生14人は1日、学校近くの実習田で稲刈りを体験した。黄金色に実った稲穂を鎌で刈り取り、収穫の喜びを味わった。

稲刈りは、Aはまゆう青年部串間支部(田中達成支部長、38人)が協力し、4月に児童たちがもち米を手植えした実習田約4畝で行った。児童たちは鎌の刃を斜めに引き上げて刈り取るよう教えられてもらい、田に横一列に並んで稲刈りに挑戦。約60センチの高さに育った稲の束をつかみ、次々と収穫していった。足踏み脱穀機を使った脱穀作業も体験した。

収穫したもち米は11月の餅つき大会で食べるという。田中翔吾10は「最初は鎌の使い方が難しかったけど、すぐに上手にできるようになった。楽しかった。早く焼いたもちを砂糖しようゆで食べたい」と心待ちにしていた。

H29.7.26(K)

■ななつばえ

串間市・本城小4年
鎌倉 賢典

四年 鎌倉 賢典

左右

H29.8.2(K)

■ななつばえ

串間市・本城小4年
日高 湧平

四年 日高 湧平

左右

同支部は有明、北方、金谷小でも稲作体験学習に取り組んでいる。
(前田潤一郎)

後世に伝えたい

本城小6年 別宮 愛
くしま学の時間に、本城の歴史めぐりをしました。

最初にいったのが、吉田けん好神社です。地域の人達からは親しみをこめて「けんこう様」とよばれています。ここでは、串間市役所の宮田さんという方から、吉田けん好神社ができたと思われる三つの説を聞きました。

次に、鬼ヶ城古墳へ行きま

した。そこには、草や木々がとてもうっそうとしていてジヤングルのようでした。他にも、ずっと水がかけなかったというみなど地区の古

井戸や、日明貿易の寄港地だったと言われているみなど地区に行きました。その中でも、私が特に心に残ったのは、山崎得入さんのお墓です。その人は、田んぼを潮から守るために、私財をつぎこんで、地域の人達のために土手をつくってくれました。その土手は、今でもコンクリートで補強されて残っています。得入さんは、「月山流長刀(かつさんりゅうながなた)術」というものもつく

ったそうです。自分の近くにこんな歴史があったので、これを後世に伝えていきたいです。
(串間市)



H.29.8.6(日)

日南・串間

エコを身近に。「エコネットワークにちなん」がみつろうと布使ったラップ作り。

地域の安全を守ります。日南市のまなびピアで80人が青バト乗車講習会に参加。

人を思いやる心を大切に。串間市の本城小で3、4年生対象に人権教育出前授業。